2.4 現地確認による検証

（1）現地確認対象地点の選定

2005 年判読で、D 発生地と判読されたもののうち、D の再転用が疑われ、現地確認等すべきと考えられる判読結果は、103 地点（全国集計結果）だった。

103 地点のうち、実際に現地確認を行う箇所として、九州地域の 31 地点すべてを現地確認対象地点とした。

調査地点を県別にみると、福岡県 7 地点、佐賀県 4 地点、長崎県 2 地点、熊本県 7 地点、大分県 3 地点、宮崎県 2 地点、鹿児島県 6 地点である（表 2-6）。

ただし、これらの 31 地点のうち、あきらかに衛星画像の位置ずれによる誤判読であると判断された佐賀県の 1 地点（地点番号：4104）については、現地確認を省略した。

表 2-6　現地確認地点一覧

県	地点番号	所在地
福岡県	4001	鞍手郡鞍手町大字中山
	4002	鞍手郡鞍手町大字中山
	4003	川田郡福智町猿田
	4004	飯塚市内住中畑
	4005	八女市下横山
	4006	八女市下横山
	4007	八女市黒木町四条野
佐賀県	4101	伊万里市黒川町小黒川
	4102	小城市小城町晴気川内
	4103	伊万里市木須町
	4104	鹿島市三河内本城
長崎県	4201	佐世保市吉井町福井
	4202	諫早市飯盛町後田
熊本県	4301	菊池郡大津町美咲野4丁目
	4302	阿蘇郡高森町上色見前原
	4303	天草市有明町赤崎
	4304	天草市有明町上津浦
	4305	天草市有明町上津浦
	4306	天草市佐伊津町
	4307	球磨郡錦町木上北上山下
大分県	4401	国東市安岐町明治
	4402	豊後大野市大野町後田茜
	4403	大分市田尻
宮崎県	4501	小林市野尻町東麓
	4502	宮崎市田野町尾脇甲
鹿児島県	4601	出水郡長島町蔵之元上
	4602	出水郡長島町蔵之元川内
	4603	阿久根市牛ノ浜
	4604	薩摩郡さつま町虎居
	4605	薩摩郡さつま町広瀬内小川田
	4606	南九州市知覧町郡岳南

（2）現地確認による検証結果

地点番号	4001	地名	福岡県鞍手郡鞍手町大字中山
調査日時	2012年2月27日10時41分	調査者	林　治克　／　大輪安信

	撮影	判定者	検証者	正誤	備考（誤判読要因等）
土地利用の判読	1990	森林	森林	○	－
	2005	開発地	開発地	○	墓地の西に駐車場出来る。格子点の北側は下り法面で、格子点は駐車場側。
	2007	農地	開発地	×	中心点の北側の暗い部分は竹藪・実際の格子点はやや南の明るい部分。
	2009	農地	開発地	×	画像が不鮮明で判読が難しい。
	2012		開発地		お寺（墓地）の駐車場法面上）
再転用の有無	無	再転用有りとの誤判定の原因	土地利用判読基準のぶれ・格子点位置読み取り基準のぶれ 画像の位置ずれ・解像度不足からくる誤判読・画像品質不良・傾斜読み取れず・狭い範囲のみでの判読・その他（　　）		

1990年空中写真

判定者	森林	検証者	森林

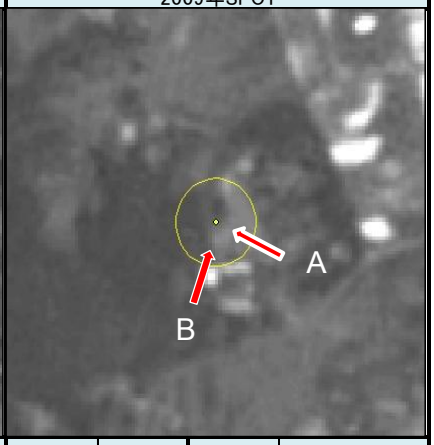
2005年SPOT

判定者	開発地	検証者	開発地

2007年SPOT

判定者	農地	検証者	開発地

2009年SPOT



判定者	農地	検証者	開発地

現況写真

A

B

考察	2005年から2009年、土地利用にほとんど変化無し。中心点位置の読み取り基準のぶれがある。2007年2009年の画像で格子点の北側の暗い部分は竹藪。

地点番号	4002	地名	福岡県鞍手郡鞍手郡鞍手町大字中山
調査日時	2012年2月27日11時02分	調査者	林　治克　／　大輪安信

	撮影	判定者	検証者	正誤	備考(誤判読要因等)
土地利用の判読	1990	森林	森林	○	－
	2005	開発地	開発地	○	格子点南西の建物が確認できる。
	2007	農地	開発地	×	格子点南東の建物が新たに確認できる。
	2009	農地	開発地	×	画質がピンぼけ状態でぼやけている。2005年、2007年に確認出来ていた建物が判読出来ない。
	2012		開発地		竹藪
再転用の有無	無		再転用有りとの誤判定の原因	土地利用判読基準のぶれ・格子点位置読み取り基準のぶれ 画像の位置ずれ・解像度不足からくる誤判読・画像品質不良・傾斜読み取れず・狭い範囲のみでの判読・その他（　　）	

1990年空中写真

判定者	森林	検証者	森林

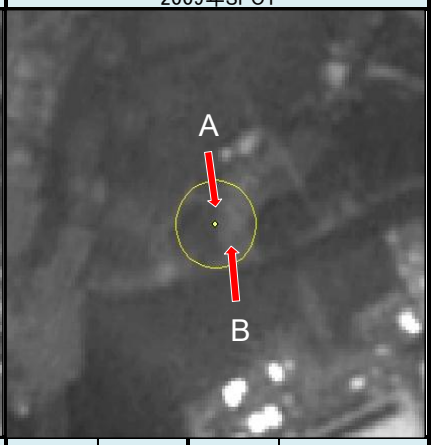
2005年SPOT

判定者	開発地	検証者	開発地

2007年SPOT

判定者	農地	検証者	開発地

2009年SPOT



判定者	農地	検証者	開発地

現況写真

考察	現状は小面積の竹藪（ヤダケ）。各時点の土地利用判読はともかく、3時点を比較すれば変化がないことがわかる。この竹藪が格子点南西にある宅地の敷地内か敷地外かは、現場では確認できなかった。格子点の東側は農地。格子点近辺は、農地、放置された分譲宅地（更地）、宅地、農道など、土地利用が細かく、スポットでは解像度が不足しているように感じる。

地点番号	4003	地名	福岡県川田郡福智町猿田
調査日時	2012年2月27日11時48分	調査者	林　治克　／　大輪安信

	撮影	判定者	検証者	正誤	備考（誤判読要因等）
土地利用の判読	1990	森林	森林	○	－
	2005	開発地	開発地	○	－
	2007	開発地	開発地	○	－
	2009	農地	開発地	×	格子点の北側の濃淡とテキスチャーから農地としたか？
	2012		開発地		売れ残りの分譲宅地に植生が侵入したもの。
再転用の有無	無	再転用有りとの誤判定の原因	土地利用判読基準のぶれ・格子点位置読み取り基準のぶれ 画像の位置ずれ・解像度不足からくる誤判読・画像品質不良・傾斜読み取れず・狭い範囲のみでの判読・その他（　　）		

1990年空中写真

判定者	森林	検証者	森林

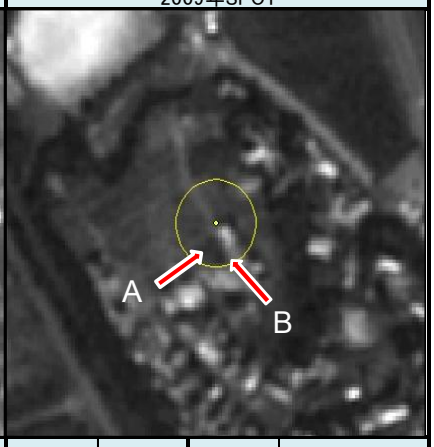
2005年SPOT

判定者	開発地	検証者	開発地

2007年SPOT

判定者	開発地	検証者	開発地

2009年SPOT



判定者	農地	検証者	開発地

現況写真

A

B

考察	格子点は、道路と売れ残った分譲宅地（植生侵入）との境。2009年を「農地」と判定したのは、売れ残った分譲宅地に植生が入ったものを「農地」と判定したものと思われる。実際、地面が露出した開発地に植生が侵入したものと、農地を画像で判別することは難しい。それは土地被覆的には「草地」であるからである。

地点番号	4004	地名	福岡県飯塚市内住(ないじゅう)中畑
調査日時	2012年2月27日13時17分	調査者	林　治克　／　大輪安信

1990年空中写真

	撮影	判定者	検証者	正誤	備考(誤判読要因等)
土地利用の判読	1990	森林	農地	×	樹冠にかかっているようにも見えるが、あぜ道の上。
	2005	開発地	農地	×	格子点が北西にずれていると判断したものか？
	2007	農地	農地	○	―
	2009	開発地	農地	×	格子点北西側の明るい部分を開発地と判読したものか？
	2012		農地		あぜ道の上。
再転用の有無		無	再転用有りとの誤判定の原因		土地利用判読基準のぶれ・格子点位置読み取り基準のぶれ 画像の位置ずれ・解像度不足からくる誤判読・画像品質不良・傾斜読み取れず・狭い範囲のみでの判読・その他(　　)

判定者	森林	検証者	農地

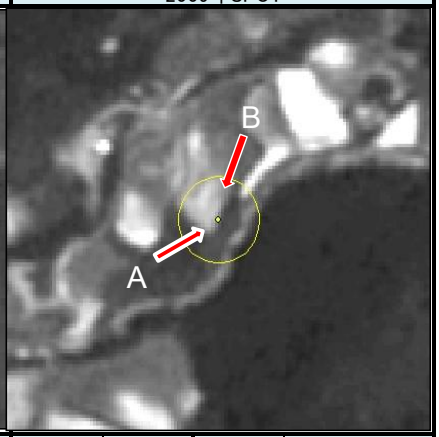
2005年SPOT

判定者	開発地	検証者	農地

2007年SPOT

判定者	農地	検証者	農地

2009年SPOT



判定者	開発地	検証者	農地

現況写真

A

B

考察	まず、1990年画像の格子点が、森林とは言えない。2005年は、おそらく格子点が北西側にずれているものと誤認し、本来の格子点が河川改修をしている点としたものと推定する。1990年画像とそれ以降の画像の大きい違いは、格子点近辺に広がっていた森林が河川改修によって、林冠が分断された(河川より北西側は現状法面上の竹藪)ことだけであり、格子点部分は変化はなく農地の畔

地点番号	4005	地名	福岡県八女市下横山
調査日時	2012年2月27日15時48分	調査者	林　治克　／　大輪安信

	撮影	判定者	検証者	正誤	備考(誤判読要因等)
土地利用の判読	1990	森林	森林	○	－
	2005	農地	開発地	×	傾斜を読み取れていない。 農地というより森林のように見える。
	2007	開発地	開発地	○	－
	2009	開発地	開発地	○	－
	2012		開発地		森林へと続く、上り法面。
再転用の有無		無	再転用有りとの誤判定の原因		土地利用判読基準のぶれ・格子点位置読み取り基準のぶれ 画像の位置ずれ・解像度不足からくる誤判読・画像品質不良・ 傾斜読み取れず・狭い範囲のみでの判読・その他(　　)

1990年空中写真

判定者	森林	検証者	森林

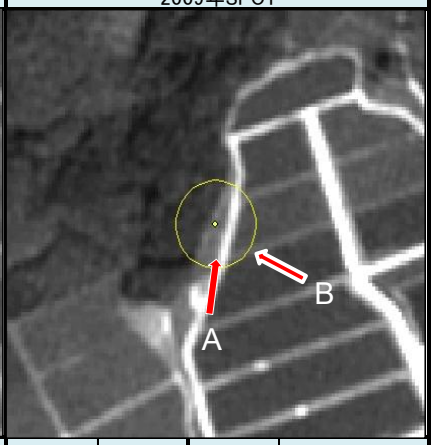
2005年SPOT

判定者	農地	検証者	開発地

2007年SPOT

判定者	開発地	検証者	開発地

2009年SPOT



判定者	開発地	検証者	開発地

現況写真

A

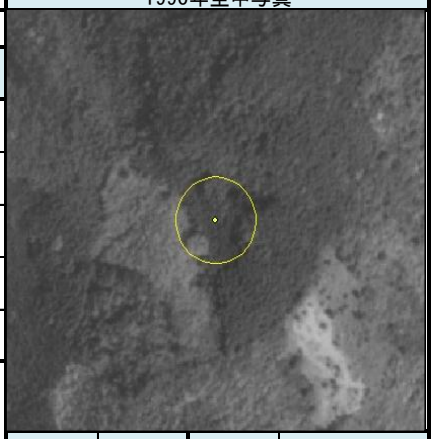
B

考察	格子点は、格子点南東側の平地(茶畑)から北西側の森林へ続く上り法面である。2005年を「農地」と判定したのは、傾斜を読み取れず、平坦地と考え、濃淡とテキスチャーから「農地」と判定したものと推定する。

地点番号	4006	地名	福岡県八女市下横山
調査日時	2012年2月27日16時27分	調査者	林　治克　／　大輪安信

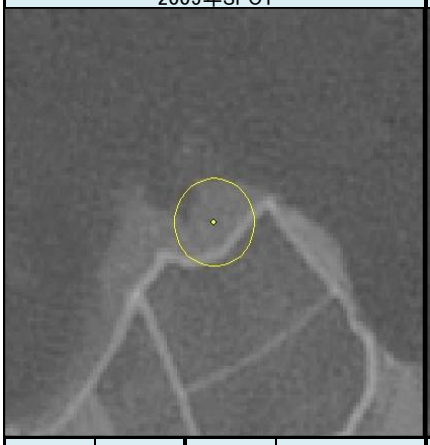
	撮影	判定者	検証者	正誤	備考（誤判読要因等）
土地利用の判読	1990	森林	森林	○	－
	2005	農地	開発地	×	傾斜が読み取れず、濃淡とテキスチャーだけから平坦な農地と判定したものと推定する。
	2007	開発地	開発地	○	－
	2009	開発地	開発地	○	テキスチャーが荒くなっているのは、森林への自然遷移が始まっているためと思われる。
	2012		開発地		茶畑から北側の谷への法面。ススキ原状態。樹高1～2mの灌木がポツポツ侵入している。
再転用の有無	無	再転用有りとの誤判定の原因	土地利用判読基準のぶれ・格子点位置読み取り基準のぶれ 画像の位置ずれ・解像度不足からくる誤判読・画像品質不良・傾斜読み取れず・狭い範囲のみでの判読・その他（　　）		

1990年空中写真



判定者	森林	検証者	森林

2005年SPOT

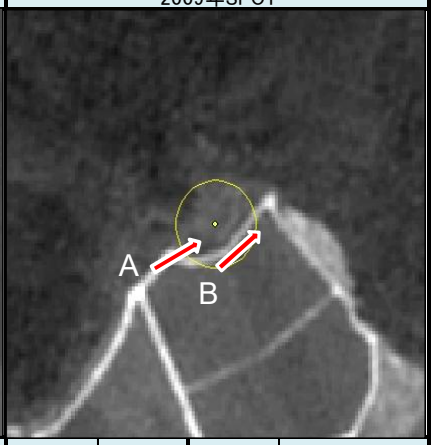


判定者	農地	検証者	開発地

2007年SPOT

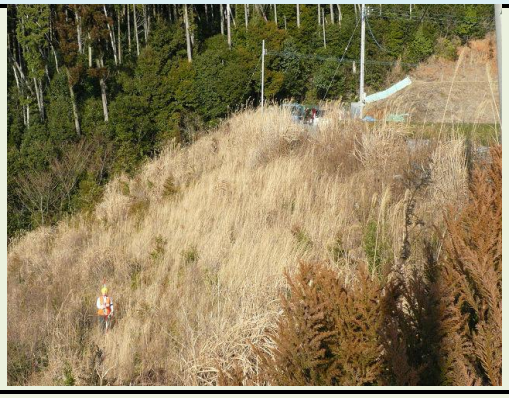
判定者	開発地	検証者	開発地

2009年SPOT



判定者	開発地	検証者	開発地

現況写真



A

B

考察	1990年画像と2005、2007、2009年画像を比較すると、格子点部分が傾斜のある法面であることが容易にわかる。2005年を「農地」と判読したのは、傾斜が読み取れず、平坦地として、濃淡・テキスチャーから「農地」と判定したものと推定する。単写真では傾斜はわからないが、以前の写真（1990年）と比べることによって、場合によっては地形図を参考にすることによって傾斜がわかる。